

ハンドレーザースキャナ

MS5145-AC

型番 : MS5145-AC-U : USB インターフェース

型番 : MS5145-AC-K : DOS/V キーボードインターフェース

共通設定バーコードメニュー

株式会社エイポック

www.a-poc.co.jp

本書は製品付属の冊子に内容を加筆したものです。
本書の内容は改良のため予告無く変更することがあります。
本書に記載されている商品名は各社の商標または商標登録です。

※ 2021年5月： 補足設定6 USB シリアル(USBCOM)の設定 設定メニューを変更しました

目次：

1. パソコンへの接続方法	
製品名 ハンドレーザースキャナ 型番：MS5145-AC-U 仕様：USB インターフェース	1
製品名 ハンドレーザースキャナ 型番：MS5145-AC-K 仕様：DOS/V 用	3
	キーボード インターフェース
2. レーザースキャナの操作とバーコード読取方法	5
3. 動作テスト	6
4. 機能設定	7
5. 設定バーコード	9
5-1 環境設定（インターフェース設定）	9
5-1-1 MS5145-AC-U の初期設定	10
5-1-2 MS5145-AC-K の初期設定（DOS/V デスクトップ PC 接続用）	10
5-1-3 MS5145-AC-K の初期設定（DOS/V ノートブック PC 接続用）	11
5-2 動作機能の設定	12
5-3 バーコード読取設定	13
5-3-1 UPC/EAN/JAN 共通	13
5-3-2 UPC-A	13
5-3-3 UPC-E	14
5-3-4 EAN-13/JAN-13	15
5-3-5 EAN-8/JAN-8	15
5-3-6 CODE39	16
5-3-7 インタリーブド2 of 5 (ITF)	17
5-3-8 NW7 (Codabar)	18
5-3-9 CODE128	18
5-4 データ転送フォーマットの設定	19
5-4-1 データ終端コード設定	19
5-4-2 コードID設定	19
5-4-3 読取桁数指定	21
5-4-4 最小読取桁数指定	23
5-4-5 プレフィックス設定	25
5-4-6 サフィックス設定	28
6. キャラクタ割当表	31
7. 数値バーコード	32
シリアルナンバー連絡票（製品保証登録）	巻末

1 パソコンへの接続方法

型番：MS5145-AC-U

仕様：USB インターフェース

1-1 対応機種

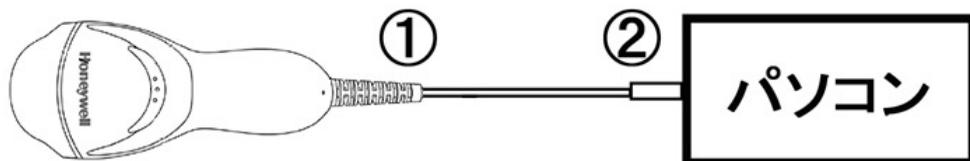
パソコン：各社DOS/Vパソコン、USBポートが動作・使用可能なパソコン

OS：Windows 7 / Vista / X P / 2000 / 98SE

制限事項：USB インターフェースは全ての動作を保証するものではありません。

1-2 バーコードリーダの接続と USB ドライバのインストール

(図)



1-2-1 パソコンのOSがWindows98の場合

- (1) バーコードリーダ「MS5145-AC-U」の本体にUSBケーブルのモジュラーコネクタを接続します。(図：①)
- (2) パソコンの電源をOFFにしてください。
- (3) バーコードリーダのUSBコネクタをパソコンのUSBポートへ接続します。(図：②)
- (4) パソコンの電源を入れます。
- (5) パソコンのOSが起動すると、「ドライバの接続ウィザード」ダイアログ画面が開きます。「このデバイス用の新しいドライバを探しています。しばらくお待ち下さい」というメッセージが表示されたら「次へ」をクリックします。
- (6) 「検索方法を指定して下さい」と表示されたら「**使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)**」をチェックし、「次へ」をクリックします。
- (7) ドライバの検索先指定ダイアログが表示されます。「検索場所の指定」をチェックし、白い枠内に半角で「**C:\WINDOWS\INF**」と入力します。入力したら「次へ」をクリックします。
※「Windows 98 CD-ROM 上のファイルhidparse.sysが見つかりませんでした」と表示された場合は備考の「USBドライバが見つからない場合」を参照して下さい。
- (8) 「USB ヒューマンインターフェースデバイス」「このデバイスに最適なドライバをインストール準備ができました」と表示されたら「次へ」をクリックします。

- (9) 「新しいハードウェア デバイスに必要なソフトウェアがインストールされました」と表示されたら「完了」をクリックします。USB のドライバセットアップが完了します。

備考 : USB ドライバが見つからない場合

- (1) CD-ROMドライブに Windows98 の CD-ROM をセットします。
- (2) 「**ファイルのコピー元**」の白い枠内に半角で「**D:¥WIN98**」と入力します※。入力したら「OK」をクリックします。
※「**D:¥・・・**」は CD-ROMドライブが **Dドライブ** に設定されていることを意味しています。パソコンのセットアップによってはドライブ名が異なる場合がありますので、適切なドライブ名を指定して下さい。
- (3) 「USB ヒューマンインターフェースデバイス」「このデバイスに最適なドライバをインストール準備ができました」と表示されたら「次へ」をクリックします。
- (4) 「新しいハードウェア デバイスに必要なソフトウェアがインストールされました」と表示されたら「完了」をクリックします。USB のドライバセットアップが完了します。

1-2-2 **パソコンのOSが Windows 7 / Vista / XP / 2000 の場合**

- (1) バーコードリーダー「MS5145-AC-U」の本体に USB ケーブルのモジュラーコネクタを接続します。(図 : ①)
- (2) バーコードリーダーを接続するパソコンの電源を切ります。
- (3) バーコードリーダーの USB コネクタをパソコンの USB コネクタへ接続します。(図 : ②)
- (4) パソコンの電源を入れます。
パソコンの OS が起動すると、システムが自動的に USB ドライバのインストールを開始し、自動的に USB ドライバのセットアップが完了します。

1 パソコンへの接続方法

型番：MS5145-AC-K

仕様：キーボードインターフェース

1-1 対応機種

パソコン：各社DOS/V（PC/AT互換）パソコン、
PS/2キーボードポートが使用可能なパソコン

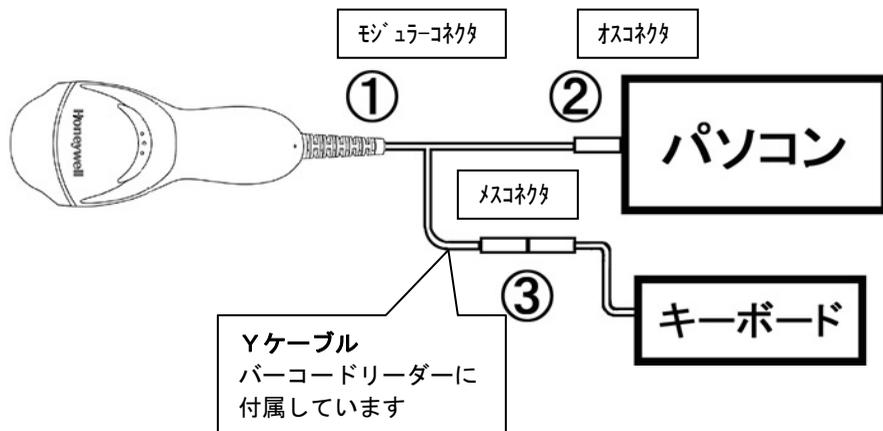
OS：MS-DOS、Windows3.1/95/98/Me/WindowsNT4.0/2000/XP以上のOS

制限事項：キーボードインターフェースは全ての動作を保証するものではありません。

1-2 パソコンへのバーコードリーダーの接続方法

1-2-1 デスクトップパソコンへの接続

(図)



- (1) バーコードリーダー「MS5145-AC-K」の本体に Y 字ケーブルのモジュラーコネクタを接続します。(図：①)
- (2) 接続するデスクトップパソコンの電源を OFF にして下さい。
- (3) パソコンからキーボードのコネクタを抜き取ります。
- (4) バーコードリーダー「MS5145-AC-K」の Y 字ケーブルの **オスコネクタ** を、**パソコン本体** のキーボードコネクタに接続します。
(図：②)
- (5) バーコードリーダー「MS5145-AC-K」の Y 字ケーブルの **メスコネクタ** を、**キーボード** と接続します。
(図：③)
- (6) パソコンの電源を ON にします。システムが立ち上がったら、パソコンのキーボードから文字入力可能か確認して下さい。

1-2-2 ノートブックパソコンへの接続

- (1) 接続するノートブックパソコンの電源を OFF にして下さい。
- (2) バーコードリーダー「MS5145-AC-K」の Y 字ケーブルのオスコネクタを、ノートブックパソコン本体の「テンキーボード／マウスコネクタ」に接続します。

備考

Y 字ケーブルのメスコネクタは空いた状態です。

<1>メスコネクタにテンキーボードを接続できます。

テンキーボードを接続するときは初期設定（デスクトップ設定）で動作します。

テンキーボードを接続しなとき（コネクタが空いた状態）は（4）の「ノートブック設定」を行う必要があります。

<2>メスコネクタに「マウス」は接続できません。

- (3) 接続が完了したらデスクトップパソコンの電源を ON にして下さい。
- (4) バーコードリーダーで「ノートブック設定（P11）」を読み取って設定を行います。
- (5) パソコンを再起動します。

ご注意

コネクタは根元までしっかりと接続して下さい。

2 レーザースキャナの操作とバーコード読取方法

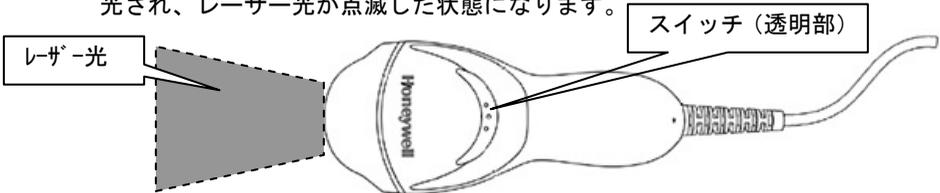
(1) 休止状態

バーコードリーダーがパソコンに接続されると電源が投入されます。電源が投入されるとブザーが1回「ピッ」と鳴動し、読取窓からレーザー光が1回投光された後、読み取り待機状態となり、レーザー光が停止します。スイッチ部の読み取り確認LEDは「赤」が点灯した状態となります。

レーザー光の状態：停止した状態 / スイッチ部の表示LED：赤（休止状態）

(2) 待機状態

バーコードリーダー本体上部の**スイッチ（透明部）**を押下すると、レーザー光が灯光され、レーザー光が点滅した状態になります。



レーザー光の状態：点滅した状態 / スイッチ部の表示LED：緑（待機状態）

(3) 読み取り準備状態

レーザー光をバーコードに当てます。
※<図>のように、バーコードの左右からはみ出るようにレーザー光を当ててください。

<図>



このとき、バーコードは読み取りされていません。

レーザー光の状態：常時灯光した状態 / スイッチ部の表示LED：緑（待機状態）

(4) バーコード読み取り

バーコードリーダー本体上部の**スイッチ（透明部）**を押下すると、**バーコードを読み取ります。**

バーコードを読み取ると、バーコードリーダーは下記の動作を行います。

1. 読取確認のブザー（ピッ）が鳴動します
2. スイッチ部の読取確認LED（赤）が点灯しします。
3. パソコンにバーコードデータを入力したあと、レーザー光と読取確認LED（赤）が消灯し、(3)の読み取り準備状態に戻ります。

(5) **バーコード入力**

パソコンのアプリケーションのカーソル部（キーボード入力待ち部分）にバーコードデータが表示されます。

(6) **休止状態へ移行**

スイッチまたはレーザー光が無反応な状態が **15 秒経過**すると、(1)の**読取休止状態**へ移行します。

再度、バーコード読み取り操作を行うにはスイッチを押して読取待機状態（レーザー光が灯光）へ移行し、以降は繰り返しの操作を行います。
((2)の読み取り待機状態へ移行)

レーザー光の状態：停止した状態 / スイッチ部の表示 LED：赤（休止状態）

※備考：P12「スイッチモード設定」の[スイッチ無効]設定を行った際も、無反応な状態が 15 秒経過すると (1) の読取休止状態へ移行します。

3 動作テスト

バーコードリーダの接続が完了したら、下記の手順で簡単な動作確認が出来ます。

- (1) Windows95/98/Me/NT/2000/XP の画面上にあるタスクバーから「スタート>プログラム>アクセサリ>メモ帳」を選択し、「メモ帳」を開きます
- (2) バーコードリーダでバーコードを読み取ります。「テスト用バーコード」などを読み取らせて下さい。「メモ帳」にバーコードデータが入力・表示されます

テスト用バーコード

<EAN/JAN-13>



<CODE 39>



<インターリーブド2 of 5>



<CODE 128>



<NW7 (Codabar)>



4 機能設定

4-1 設定方法

設定バーコードを読み取ることによって、各種の機能設定を行います。
設定の方法は「1回読取設定」と「複数読取設定」の2種類があります。
設定内容は電源を切った後も保存されています。

4-1-2 1回読取設定

設定変更したい内容の設定バーコードを1回読み取るだけで設定変更されます。
設定項目名に 印がある設定バーコードが対象です。

- (1) 設定バーコードを読み取る。印がある設定項目)
ブザーがゆっくりと3回（ピッ、ピッ、ピッ）鳴動し、設定が変更されます。
設定変更中は表示LED（赤）が一定間隔で点滅します。
この間、バーコードの読み取りは行えません。

4-1-3 複数読取設定

複数の設定バーコードを読み取らせて設定をおこなう設定方法です。
設定項目名に 印がある設定バーコードが対象です。

備考

印がある設定項目は、「1回読取設定」を行えません

- (1) **[設定開始/設定終了]**バーコードを読み取る。※
ブザーが3回（ピッ、ピッ、ピッ）鳴動し、設定モードに移行します。
バーコードリーダーが設定モードで動作中であることを示す表示LED（赤）が一定間隔で点滅します。
- (2) 設定バーコードを読み取る。印がある設定項目)
- (3) 巻末の**[数値バーコード]**を**3つ**読み取らせる。
(2)の設定内容は、3桁の数値によってあらわされています。
3桁の数値は、巻末のキャラクタ割当表に示しています。
 - [1] 1つ目の数値（百の位の数値）を読み取る。
・ブザーが1回鳴動します
 - [2] 2つ目の数値（十の位の数値）を読み取る。
・ブザーが2回鳴動します
 - [3] 3つ目の数値（一の位の数値）を読み取る。
・ブザーが3回鳴動します
- (4) **[設定開始/設定終了]**バーコードを読み取る。
ブザーが2回（ピッ・・・ピッ）が鳴動し、設定モードを終了します。
※[設定開始/設定終了]バーコードは同じバーコードです。

備考

本書は製品に添付されている「MetroSelect SingleLineConfigurationGuide」から、よく使用される設定バーコードを抜粋・編集したものです。

本書に掲載されている設定内容以外にも、英文版にはいくつかの設定内容が記載されています。本書に記載されている内容以外の設定については弊社までお問い合わせ下さい。

ご注意

英文版の P22～P25 のバーコードは読み取らせないで下さい(他機種専用のメニューです)。

4-2 設定バーコードの使用例

例1：「スイッチ無効」の設定を行う

手順	読み取る設定バーコード	記載項目
1	[スイッチ無効]	5-2 (P12)

例2：「ENTER を転送しない」設定を行う

手順	読み取る設定バーコード	記載項目
1	[ENTER を転送しない]	5-4-1 (P19)

例3：インターリーブド2 of 5 (ITF) に読取桁数指定の設定を行う
桁数は14桁に設定する

手順	読み取る設定バーコード	記載項目
1	[設定開始/設定終了]	5-4-3 (P21)
2	バーコード種類選択 [種類選択開始]	5-4-3 (P21)
3	ITFの[数値バーコード] [0] [8] [2]	5-4-3 (P22)
4	バーコード読取桁数指定 [桁数指定開始]	5-4-3
5	桁数の[数値バーコード] [0] [1] [4]	7. 数値バーコード (P32)
6	[設定開始/設定終了]	5-4-3 (P21)

5 設定バーコード

設定バーコードの見方

● 印の項目・・・「1回読取設定」を行う設定項目

◎ 印の項目・・・「複数読取設定」を行う設定項目

☆印の設定バーコード・・・初期設定（出荷時設定）の内容

設定バーコードの下の数字・・・英文バーコードブックに対応する内容

5-1 環境設定（インターフェース設定）

初期設定（出荷時設定）

- 1) バーコードリーダーのインターフェースの種類によって環境設定（インターフェース設定）が異なります。
- 2) **USB インターフェース**と**キーボードインターフェース（デスクトップ用）**の初期設定用バーコードメニューは共通です。
- 3) **USB インターフェース**と**キーボードインターフェース（デスクトップ用）**は出荷時に設定済です。初期設定を行わずにすぐにご使用になれます。

- 5-1-1 MS5145-AC-U(F ver 以降) USB インターフェースの初期設定 
 下記のバーコードを順番に読み取ると、初期化されます。
- 5-1-2 MS5145-AC-K(F ver 以降) PS/2 キーボードインターフェース 
 (デスクトップ PC 接続用)の初期設定
 下記のバーコードを順番に読み取ると、初期化されます。
 PS/2のみ矢印「→」の順番に進んで全て読み取ってください。

初期設定用バーコード：MS5145-AC-U、MS5145-AC-K（デスクトップ PC 使用時）

1. 設定開始



2. 全項目初期化



PS/2のみ

キーボードウェッジに初期化(PS/2)



3. 日本語キーボード設定(USB と PS/2)



4. Enable 15 Second Sleep(15 秒後にレーザーが自動的に消灯)



5. Laser On after Decode



PS/2のみ

Enable Power-Up Wait(PS/2)



6. ブザー設定 (ブザー音色 1)



7. LF Suffix 禁止



8. 設定終了



LF について：アプリケーションによっては LF Suffix 許可に設定する場合があります。
 P19 の ENTER 設定が反映されないときは 7 番目を LF Suffix 許可の設定に入れ変えてをお試し下さい。

LF Suffix 許可



5-1-3 MS5145-AC-K(F ver 以降) キーボードインターフェース
(DOS/V ノートブック PC 接続用) の初期設定 ◎

- ・下記のバーコードを順番に読み取ると、初期設定されます。
- ・動作調整のために「プレフィックスデータ1」と「プレフィックスデータ2」を設定しています。

初期設定用バーコード：MS5145-AC-K ノートブック PC 専用（メスコネクタ未使用時）

1. 設定開始



1 0. [0]ブザー - 1 回鳴動



2. 全項目初期化



1 1. [0]ブザー - 2 回鳴動



3. キーボードウェッジに初期化



1 2. [8]ブザー - 3 回鳴動



4. 日本語キーボード設定



1 3. Enable 15 Second Sleep



5. (プレフィックスデータ1 設定)



1 4. Laser On after Decode



6. [0]ブザー - 1 回鳴動



1 5. Enable Power-Up Wait



7. [3]ブザー - 2 回鳴動



1 6. ブザー設定 (ブザー音色 1)



8. [2]ブザー - 3 回鳴動



1 7. LF Suffix 禁止



9. (プレフィックスデータ2 設定)



1 8. 設定終了



5-2 動作機能の設定



読取確認ブザー音設定

ノーマル音色
(工場出荷時設定)



ブザー音色 2



ブザー音色 4



ブザー音色 6



☆[ブザー音あり]

ブザー音色 1 (P10 での設定時)



ブザー音色 3



ブザー音色 5



ブザー音無し



スイッチモード設定

☆[スイッチ使用]

バーコードを読み取るときはスイッチを押します。



[スイッチ無効]

スイッチを押さなくとも、レーザー光をバーコードにあてるのみで読み取ります。



(関連) 巻末に、このほかに追加されたスイッチ点灯モードの設定があります。

5-3 バーコード読取設定 (バーコードの種類ごとの設定)

5-3-1

<UPC/EAN/JAN共通>

読取許可

☆読取許可

読取禁止



100116



100106

5-3-2

<UPC-A>

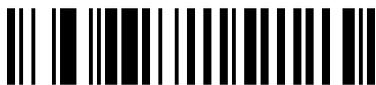
転送フォーマット

先頭0 (ナンバーシステムキャラクタ)	データ 11桁	チェックデジット 1桁
---------------------	---------	-------------

読取許可

☆読取許可

読取禁止



100216

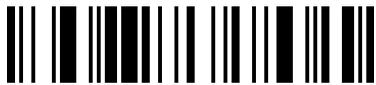


100206

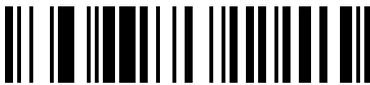
桁数調整の先頭0 (ナンバーシステムキャラクタ) 転送

☆転送する

転送しない



107511

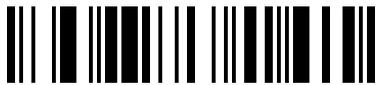


107501

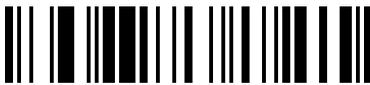
チェックデジット転送

☆転送する

転送しない



107517

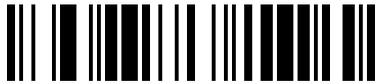


107507

EAN13への変換 (先頭に0を付加し、13桁に変換)

変換する

☆変換しない



107514



107504

5-3-3

<UPC-E>

転送フォーマット

先頭0	データ6桁	チェックデジット1桁
-----	-------	------------

読取許可

☆[読取許可]

[読取禁止]



100210



100200

桁数調整の先頭0転送

[転送する]

☆[転送しない]



107513



107503

チェックデジット転送

[転送する]

☆[転送しない]



107516



107506

UPC-Aへの変換（0を挿入し、12桁に変換）

[変換する]

☆[変換しない]



107515



107505

5-3-4

<EAN-13/JAN-13>

転送フォーマット

データ 12 桁	チェックデジット 1 桁
----------	--------------

読取許可

☆[読取許可]



100211

[読取禁止]



100201

チェックデジット転送

☆[転送する]



107912

[転送しない]



107902

アドオン5桁 (新雑誌コード)

[読取許可]



101216

☆[読取禁止]



101206

5-3-5

<EAN-8/JAN-8>

転送フォーマット

データ 7 桁	チェックデジット 1 桁
---------	--------------

読取許可

☆[読取許可]



100214

[読取禁止]



100204

チェックデジット転送

☆[転送する]



107910

[転送しない]



107900

EAN-13へ変換 (先頭に0を5桁付加し、13桁に変換)

[変換する]



107512

☆[変換しない]



107512

5-3-6

<CODE 39>

データ転送フォーマット

スタート*	バーコードデータ (可変長)	※C/D	ストップ*
-------	----------------	------	-------

※C/D：チェックデジットはバーコードのオプションキャラクタです。

読み取らせるバーコードに付加されている、付加されていないかをご確認ください。

読取許可

☆[読取許可]

[読取禁止]



100111



100101

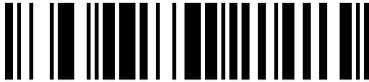
スタート・ストップキャラクタ転送

[転送する]

☆[転送しない]



107710



107700

チェックデジット (C/D) 照合

・CODE 39のチェックデジット計算方法は「モジュラス43」です。

[照合する]

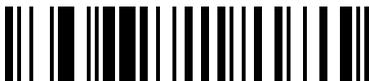
☆[照合しない]

C/DがあるCODE 39、または
C/Dが正しいCODE 39を
読み取ります。

C/Dが無いCODE 39と、
C/DがあるCODE 39も
読み取ります。



100213



100203

チェックデジット (C/D) 転送

・[チェックデジット照合する]の設定時に設定可能です。

[転送する]

☆[転送しない]



107715



107705

5-3-7

<インターリーブド2 of 5 (ITF)>

転送フォーマット

バーコードデータ (※1. 可変長)	※2. C/D
--------------------	---------

※1. 物流コードでは通常14桁、または16桁です。

※2. C/D: チェックデジットはバーコードのオプションキャラクタです。

読取許可

☆[読取許可]

[読取禁止]



100115



100105

チェックデジット (C/D) 照合

・インターリーブド2 of 5のチェックデジット計算方法は「モジュラス10」です。

[照合する]

☆[照合しない]

C/DがあるITF、または

C/Dが無いITFと、

C/Dが正しいITFを

C/DがあるITFも

読み取ります。

読み取ります。



100310



100300

チェックデジット (C/D) 転送

・[チェックデジット照合する]の設定時に設定可能です。

[転送する]

☆[転送しない]



107714



107704

備考

インターリーブド2 of 5はバーコードの特性上、読取時に「桁落ち」して読み取ることがあるので「読取桁数固定 (定項目5-5-3 P21)」を設定することを推奨します。

5-3-8

<NW7 (Codabar) >

転送フォーマット

スタート (A,B,C,D)	バーコードデータ (可変長)	ストップ (A,B,C,D)
----------------	----------------	----------------

※スタート・ストップキャラクタの表示は小文字ですが、転送時に大文字に変換されます

読取許可

☆[読取許可]



[読取禁止]



スタート・ストップキャラクタ転送

[転送する]



☆[転送しない]



スタート・ストップキャラクタのタイプ

☆[ノーマル (大文字)]



[小文字]



チェックデジット モジュラス 10

[許可]



☆[禁止]



チェックデジット 7チェック

[許可]



☆[禁止]



チェックデジット 転送

☆[許可]



[禁止]



5-3-9

<CODE 128 >

転送フォーマット

バーコードデータ (可変長)	C/D (非転送)
----------------	-----------

※C/D: チェックデジットはバーコードのオプションキャラクタです。

通常はCODE 128に付加されています。

読取許可

☆[読取許可]



[読取禁止]



5-4 データ転送フォーマットの設定

5-4-1 データ終端コード(STANDARD SUFFIX CHARACTERS)設定



データ転送フォーマット

バーコードデータ	TAB	CR (ENTER)	LF
----------	-----	------------	----

☆[CR (ENTER) サフィックス許可]

[CR (ENTER) サフィックス禁止]



☆[LF サフィックス許可]※

[LF サフィックス禁止]



※工場出荷時は許可の設定ですが、本書の初期設定メニューで禁止に設定しています。USB キーボードおよび PS/2 キーボード接続では、LF サフィックスはアプリケーションによって ENTER (改行) として受け付ける場合と受け付けない場合があります。ENTER を 1 回出力した時に、2 回出力される場合は [LF サフィックス禁止] に設定してください。

[TAB サフィックス許可]

☆[TAB サフィックス禁止]



5-4-2 コードID設定

・「コードID」とは：設定したバーコードの種類を読み取ると、指定した1文字を「ID」としてバーコードデータに付加して転送する設定です。

データ転送フォーマット

コードID (先頭)	バーコードデータ	コードID (末尾)
------------	----------	------------

コードID転送位置



☆[バーコードの先頭に付加]

[バーコードの末尾に付加]



コードID消去



設定したコードIDを消去します。



コードID設定



コードIDの設定手順：

1. [設定開始/設定終了]バーコードを読み取る
2. IDを付加するバーコードの種類を選択し、[ID設定バーコード]を読み取る
3. 巻末の表[キャラクター表]を参照し、付加する文字に値する3桁の[数値バーコード]を順番に読み取る
4. [設定開始/設定終了]バーコードを読み取る

順番	設定内容/説明	設定バーコード
1		[設定開始/設定終了]
	設定開始	
4	設定終了	 999999
2		[ID設定バーコード]
	UPC-A	
	UPC-E	
	EAN-13/EAN-13	
	EAN-8/EAN-8	
	CODE39	
	ITF (インターグット* 2of5)	
	NW7 (Codabar)	
	CODE128	
3		[数値バーコード] (巻末に記載)
	キャラクター割当表を参照し、3桁の数値を確認します	3桁の数値 に値する[数値バーコード]を 順番に3つ 読み取ります 例： <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>A</td></tr></table> を付加するとき：[0]→[6]→[5]を読み取る
A		

5-4-3 読取桁数指定



- ・可変長バーコードの読取桁数を指定します。
指定した桁数のみのバーコードを読み取ります。

備考

特に、ITF（インターリーブド2 of 5）はバーコードの特性上、「桁落ち」読取することがあるので読取桁数を指定することを推奨します。

読取桁数指定の手順：

1. 読取桁数を指定するバーコードの種類を設定します。
 - (1) [設定開始/設定終了]バーコードを読み取る
 - (2) [バーコード選択]バーコードを読み取る
 - (3) 読取桁数を指定する[バーコードの種類]を表から選択し、表の3つの[数値バーコード]を上から順番に読み取る
 - (4) [読取桁数指定開始]バーコードを読み取る
 - (5) 巻末の表[数値バーコード]を3つ順番に読み取る
読み取る数値は、指定する桁数を百の位までで表した数値です
数値の組み合わせの範囲は「001」（1桁）～「048」（48桁）です
例：「14桁」のバーコードのみ読み取るように読取桁数を指定するとき、読み取る[数値バーコード]は[0][1][4]です。

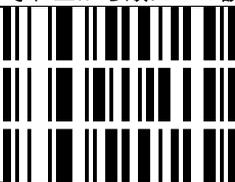
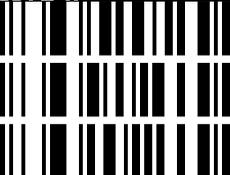
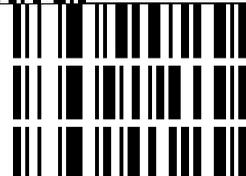
ご注意

NW7（Codabar）の読取桁数指定は、スタート・ストップキャラクタを含んだ桁数で設定します。「バーコードデータの桁数+2」が設定する桁数です。

例：NW7 a12345678a の桁数を指定するときは
バーコードデータ「8桁」+「2桁」=「10桁」=「010」となり、
読み取る[数値バーコード]は[0][1][0]となります。

- (6) [設定開始/設定終了]バーコードを読み取る

順番	設定内容/説明	設定バーコード
1		[設定開始/設定終了]
	設定開始	
6	設定終了	999999
2		[バーコード選択]
	選択開始	 902100

3	[バーコードの種類選択]それぞれ上から順に3つ読み取ります		
	CODE39	0 8 0	
	ITF (インターリーブド 2of5)	0 8 2	
	NW7 (Codabar)	0 8 1	
	CODE128	0 8 3	
4	[読取桁数指定開始]		
	指定開始	 902000	
5	[数値バーコード] (巻末に記載)		
	キャラクター 割当表を参照 し、 3桁の数値 を確認ます	3桁の数値 に値する[数値バーコード]を 順番に3つ 読み取ります 例： <input type="text" value="14桁"/> に桁数指定するとき：[0]→[1]→[4]を読み取る	

5-4-4 最小読取桁数指定 ◎

- ・可変長バーコードを読み取るときの、最小桁数を設定します。
- 設定後は、**設定した桁数以上のバーコードのみ**を読み取ります。
- 初期設定（出荷時設定）ではバーコードごとに読取最小桁数が設定された状態です。
- 初期設定の最小読取桁数は表を参照してください。

<表>

バーコード	初期設定（出荷時設定）の最小読取桁数
CODE 3 9	3桁（3桁以上のCODE 3 9を読み取る）
I T F	4桁（4桁以上のI T Fを読み取る）
NW 7（Codabar）	3桁（1桁以上のNW 7を読み取る） ※スタート・ストップを含んだ3桁以上
CODE 1 2 8	3桁（3桁以上のCODE 1 2 8を読み取る）

読取桁数指定の手順：

1. 読取桁数を指定するバーコードの種類を設定します。
 - (1) [設定開始/設定終了]バーコードを読み取る
 - (2) [最小読取桁数指定]バーコードを読み取る
※バーコード全種類を共通して設定します
 - (3) 巻末の表[数値バーコード]を3つ順番に読み取る
読み取る数値は、指定する桁数を百の位までで表した数値です
数値の組み合わせの範囲は「001」（1桁）～「048」（48桁）です
例：「6桁」以上のバーコードを読み取るように最小読取桁数を指定するとき、
読み取る[数値バーコード]は[0][0][6]です。

ご注意

NW 7（Codabar）の読取桁数指定は、スタート・ストップキャラクタを含んだ桁数で設定します。「バーコードデータの桁数+2」が設定する桁数です。

例：NW 7 a123456a の桁数を指定するときは
バーコードデータ「6桁」+「2桁」=「8桁」=「008」となり、
読み取る[数値バーコード]は[0][0][8]となります。

- (4) [設定開始/設定終了]バーコードを読み取る

順番	設定内容/説明	設定バーコード
1		[設定開始/設定終了]
	設定開始	 999999
4	設定終了	
2		[最小読取桁数指定]
	最小読取桁数指定	 901800
3		[数値バーコード] (巻末に記載)
	キャラクター 割当表を参照 し、 3桁の数値 を確認ます	3桁の数値 に値する[数値バーコード]を 順番に3つ 読み取ります 例： <input type="text" value="6桁"/> に桁数指定するとき：[0]→[0]→[6]を読み取る

5-4-5 プレフィックス設定 ◎

・「プレフィックス」とは：

バーコードデータの先頭に付加するデータです。

1～10桁のデータを付加することが可能です。

データ転送フォーマット

プレフィックス						バーコードデータ
1桁目	2桁目	3桁目	4桁目	...	10桁目	

プレフィックスの設定手順：

1. [設定開始/設定終了]バーコードを読み取る
 2. [プレフィックス設定 1桁目設定]バーコードを読み取る
 3. 巻末の表[キャラクター表]を参照し、付加する文字に値する
3桁の[数値バーコード]を順番に読み取る
例：!を付加するとき：[0]→[3]→[3]を読み取る
- 備考
- プレフィックス2桁目以降を設定するときは
2. 目的の桁の[プレフィックス設定バーコード]を読み取る
- ↓
3. 3つの[数値バーコード]の読取
を繰り返す
4. [設定開始/設定終了]バーコードを読み取る

ご注意

MS5145-AC-K (DOS/V キーボードインターフェース) をご使用のお客様へ

「ノートブックパソコン」設定をした状態のとき、「プレフィックス1桁目」と「プレフィックス2桁目」が既に設定されています。

任意のプレフィックスを設定するときは「プレフィックス3桁目」以降を設定してください。

順番	設定内容/説明	設定バーコード
1		[設定開始/設定終了]
	設定開始	
4	設定終了	999999
2		[プレフィックス設定]
	プレフィックス 1桁目	 903500
	プレフィックス 2桁目	 903600
	プレフィックス 3桁目	 903700
	プレフィックス 4桁目	 903800
	プレフィックス 5桁目	 903900
	プレフィックス 6桁目	 904000
	プレフィックス 7桁目	 904100

	プレフィックス 8桁目	 904200
	プレフィックス 9桁目	 904300
	プレフィックス 10桁目	 904400
3	[数値バーコード] (巻末に記載)	
	キャラクター 割当表を参照 し、 3桁の数値 を確認ます	3桁の数値 に値する[数値バーコード]を 順番に3つ 読み取ります 例: <input type="text" value="!"/> を設定するとき: [0]→[3]→[3]を読み取る

プレフィックス消去

設定したプレフィックスを消去します。



999985

※MS5145-AC-K (ノートブック設定) をご使用の場合は、
プレフィックスを消去した後は再度初期設定を行ってください。
(初期設定内で動作調整用のプレフィックス 1桁目と 2桁目を設定しています)

5-4-6 サフィックス設定 ◎

・「サフィックス」とは：

バーコードデータの末尾に付加するデータです。

1～10桁のデータを付加することが可能です。

・データ終端コード（ENTER、TAB）はサフィックスの後に出力されます。

データ転送フォーマット

バーコードデータ	サフィックス						データ終端 コード
	1桁目	2桁目	3桁目	4桁目	…	10桁目	

サフィックスの設定手順：

1. [設定開始/設定終了]バーコードを読み取る
2. [サフィックス設定 1桁目設定]バーコードを読み取る
3. 巻末の表[キャラクター表]を参照し、付加する文字に値する
3桁の[数値バーコード]を順番に読み取る

例：#を付加するとき：[0]→[3]→[5]を読み取る

備考

サフィックス2桁目以降を設定するとき

2. 目的の桁の[サフィックス設定バーコード]を読み取る

↓

3. 3つの[数値バーコード]の読取

を繰り返す

4. [設定開始/設定終了]バーコードを読み取る

順番	設定内容/説明	設定バーコード
1		[設定開始/設定終了]
	設定開始	 999999
4	設定終了	
		[サフィックス設定]
2	サフィックス 1 桁目	 904500
	サフィックス 2 桁目	 904600
	サフィックス 3 桁目	 904700
	サフィックス 4 桁目	 904800
	サフィックス 5 桁目	 904900
	サフィックス 6 桁目	 905000
	サフィックス 7 桁目	 905100

	サフィックス 8桁目	 905200
	サフィックス 9桁目	 905300
	サフィックス 10桁目	 905400
	[数値バーコード] (巻末に記載)	
3	キャラクター 割当表を参照 し、 3桁の数値 を確認ます	3桁の数値 に値する[数値バーコード]を 順番に3つ 読み取ります 例： <input type="text" value="#"/> を設定するとき：[0]→[3]→[5]を読み取る

サフィックス消去



設定したサフィックスを消去します。



999984

6 キャラクタ割当表

- ・コードID・プレフィックス・サフィックスのキャラクタを指定するとき、キャラクタに値する3つの数値の[数値バーコード]を読み取るとキャラクタが設定されます。
 - ・[数値バーコード]は項目7「**数値バーコード**」(P32)を使用します。
- ※詳細は巻末の補足設定「コード・バイト」を参照して下さい。

キャラクタ	数値	キャラクタ	数値	キャラクタ	数値
SP (スペース)	0 3 2	E	0 6 9	j	1 0 6
!	0 3 3	F	0 7 0	k	1 0 7
"	0 3 4	G	0 7 1	l	1 0 8
#	0 3 5	H	0 7 2	m	1 0 9
\$	0 3 6	I	0 7 3	n	1 1 0
%	0 3 7	J	0 7 4	o	1 1 1
&	0 3 8	K	0 7 5	p	1 1 2
'	0 3 9	L	0 7 6	q	1 1 3
(0 4 0	M	0 7 7	r	1 1 4
)	0 4 1	N	0 7 8	s	1 1 5
*	0 4 2	O	0 7 9	t	1 1 6
+	0 4 3	P	0 8 0	u	1 1 7
,	0 4 4	Q	0 8 1	v	1 1 8
-	0 4 5	R	0 8 2	w	1 1 9
.	0 4 6	S	0 8 3	x	1 2 0
/	0 4 7	T	0 8 4	y	1 2 1
0	0 4 8	U	0 8 5	z	1 2 2
1	0 4 9	V	0 8 6	{	1 2 3
2	0 5 0	W	0 8 7		1 2 4
3	0 5 1	X	0 8 8	}	1 2 5
4	0 5 2	Y	0 8 9	~	1 2 6
5	0 5 3	Z	0 9 0		
6	0 5 4	[0 9 1		
7	0 5 5	¥	0 9 2		
8	0 5 6]	0 9 3		
9	0 5 7	^	0 9 4		
:	0 5 8	_	0 9 5		
;	0 5 9	`	0 9 6		
<	0 6 0	a	0 9 7		
=	0 6 1	b	0 9 8		
>	0 6 2	c	0 9 9		
?	0 6 3	d	1 0 0		
@	0 6 4	e	1 0 1		
A	0 6 5	f	1 0 2		
B	0 6 6	g	1 0 3		
C	0 6 7	h	1 0 4		
D	0 6 8	i	1 0 5		

7 数値バーコード

・各種設定に使用する数値をあらわした[数値バーコード]です。

 0	 5
 1	 6
 2	 7
 3	 8
 4	 9

補足設定 1

コード・バイトの使用方法

コード・バイトとは設定用の数値バーコードメニュー（0～9）です。

マルチ・コード方式（複数読取設定）で「バーコードの種類」「桁数」「キャラクタ」「ファンクション・キー」をスキャナに設定する場合は、コード・バイトをスキャンして値を設定します。

コード・バイトの値は3桁で設定します。

設定するコード・バイトの値は次の表を参照して、該当する3桁の数値をスキャナで読み取ってください。

マルチ・コード方式を必要とする設定	参照項目	例(内容)	例(値)
ユーザー指定のプリフィックス・サフィックスにキャラクタ(文字)を設定する	アスキーの設定値	アルファベットの「A」を設定する	065
ユーザー指定のプリフィックス・サフィックスにファンクション・キーを設定する	ファンクション・キーの設定値	キーボードの「ESC」を設定する	169

設定開始/設定終了



設定の例

例：プレフィックス 1 桁目にアルファベット「Ctrl+」 2 桁目に「f」を設定する

順番	参照項目	読み取るメニュー	ブザーが鳴る回数
1		設定開始/設定終了	3回 はやく鳴ります
2	プレフィックス設定	プレフィックス 1 桁目	1回
3	アスキーの設定値	コード・バイト「1」	1回
4	アスキーの設定値	コード・バイト「7」	2回
5	アスキーの設定値	コード・バイト「5」	3回
6	プレフィックス設定	プレフィックス 2 桁目	1回
7	ファンクション・キーの設定値	コード・バイト「1」	1回
8	ファンクション・キーの設定値	コード・バイト「0」	2回
9	ファンクション・キーの設定値	コード・バイト「2」	3回
10		設定開始/設定終了	3回 ゆっくり鳴ります

コード・バイトの設定値

バーコードの種類の設定

バーコードの種類を設定する場合は、表のコード・バイトを設定します。

コード・バイト	コード・タイプ(バーコードの種類)
004	UPC-A
002	UPC-E
003	EAN-8
005	EAN-13
080	Code 39
081	Codabar
082	Interleaved 2 of 5
083	Code 128
084	Code 93
091	MSI Plessey
092	Code 11
093	Airline 2 of 5 (15桁)
094	Matrix 2 of 5
095	TELEPEN
096	UK Plessey
098	Standard 2 of 5
097	Airline (13桁)
099	TRI-OPTIC

コード・バイトの設定値

アスキーの設定値(アスキー表)

16進数値	10進数値/ コード・バイト値	キャラクタ	コントロール・ キーボードと同等
00	000	NUL	@
01	001	SOH	A
02	002	STX	B
03	003	ETX	C
04	004	EOT	D
05	005	ENQ	E
06	006	ACK	F
07	007	BEL	G
08	008	BS	H
09	009	HT	I
0A	010	LF	J
0B	011	VT	K
0C	012	FF	L
0D	013	CR	M
0E	014	SO	N
0F	015	SI	O
10	016	DLE	P
11	017	DC1	Q
12	018	DC2	R
13	019	DC3	S
14	020	DC4	T
15	021	NAK	U
16	022	SYN	V
17	023	ETB	W
18	024	CAN	X
19	025	EM	Y
1A	026	SUB	Z

コード・バイトの設定値

アスキーの設定値(アスキー表)

16進数値	10進数値/ コード・バイト値	キャラクタ	コントロール・ キーボードと同等
1B	027	ESC	[
1C	028	FS	¥
1D	029	GS	^
1E	030	RS	_
1F	031	US	
20	032	SP	space,blank
21	033	!	
22	034	"	
23	035	#	
24	036	\$	
25	037	%	
26	038	&	
27	039	'	apostrophe
28	040	(
29	041)	
2A	042	*	
2B	043	+	
2C	044	,	comma
2D	045	-	minus
2E	046	.	period
31	049	1	number one
32	050	2	
33	051	3	
34	052	4	
35	053	5	

コード・バイトの設定値

アスキーの設定値(アスキー表)

16 進数値	10 進数値/ コード・バイト値	キャラクタ	コントロール・ キーボードと同等
36	054	6	
37	055	7	
38	056	8	
39	057	9	
3A	058	:	
3B	059	;	
3C	060	<	less than
3D	061	+	
3E	062	>	greater than
3F	063	?	
40	064	@	shift P
41	065	A	
42	066	B	
43	067	C	
44	068	D	
45	069	E	
46	070	F	
47	071	G	
48	072	H	
49	073	I	letter I
4A	074	J	
4B	075	K	
4C	076	L	
4D	077	M	
4E	078	N	

コード・バイトの設定値

アスキーの設定値(アスキー表)

16 進数値	10 進数値/ コード・バイト値	キャラクタ	コントロール・ キーボードと同等
4F	079	O	letter O
50	080	P	
51	081	Q	
52	082	R	
53	083	S	
54	084	T	
55	085	U	
56	086	V	
57	087	W	
58	088	X	
59	089	Y	
5A	090	Z	
5B	091	[shift K
5C	092	¥	shift L
5D	093]	shift M
5E	094	^	up arrow、 shift N
5F	095	—	left arrow、 shift O,underscore
60	096	‘	accent grave
61	097	a	
62	098	b	
63	099	c	
64	100	d	
65	101	e	
66	102	f	
67	103	g	
68	104	h	
69	105	i	

コード・バイトの設定値

アスキーの設定値(アスキー表)

16 進数値	10 進数値/ コード・バイト値	キャラクタ	コントロール・ キーボードと同等
6A	106	j	
6B	107	k	
6C	108	l	
6D	109	m	
6E	110	n	
6F	111	o	
70	112	p	
71	113	q	
72	114	r	
73	115	s	
74	116	t	
75	117	u	
76	118	v	
77	119	w	
78	120	x	
79	121	y	
7A	122	z	
7B	123	{	
7C	124		vertical slash
7D	125	}	alt mode
7E	126	~	(alt mode)
7F	127	DEL	delete,rubout

コード・バイトの設定値

ファンクション・キー(拡張キー・コード)の設定値

ファンクション・キー	AT スキャンコード	PS2 スキャンコード	3151	PREFIX/SUFFIX 設定値 16 進数 = 10 進数
Up arrow	75H	48H	63H	80H = 128
Down arrow	72H	50H	60H	81H = 129
Right arrow	74H	4DH	6AH	82H = 130
Left arrow	6BH	4BH	61H	83H = 131
Insert	70H	52H	67H	84H = 132
Delete	71H	53H	64H	85H = 133
Home	6CH	47H	6EH	86H = 134
End	69H	4FH	00H	87H = 135
Page Up	7DH	49H	00H	88H = 136
Page Down	7AH	51H	00H	89H = 137
Right Alt	11H	38H	00H	8AH = 138
Right Ctrl	14H	1DH	39H	8BH = 139
予約項目(なし)	00H	00H	00H	8CH = 140
予約項目(なし)	00H	00H	00H	8DH = 141
Numeric Keypad Enter	5AH	5AH	79H	8EH = 142
Numeric Keypad /	4AH	35H	00H	8FH = 143
F1	05H	3BH	07H	90H = 144
F2	06H	3CH	0FH	91H = 145
F3	04H	3DH	17H	92H = 146
F4	0CH	3EH	1FH	93H = 147
F5	03H	3FH	27H	94H = 148
F6	0BH	40H	2FH	95H = 149
F7	83H	41H	37H	96H = 150
F8	0AH	42H	3FH	97H = 151
F9	01H	43H	47H	98H = 152
F10	09H	44H	4FH	99H = 153
F11	78H	57H	56H	9AH = 154
F12	07H	58H	5EH	9BH = 155
Numeric +	79H	4EH	00H	9CH = 156

コード・バイトの設定値

ファンクション・キー(拡張キー・コード)の設定値

ファンクション・キー	AT スキャンコード	PS2 スキャンコード	3151	PREFIX/SUFFIX 設定値 16 進数 = 10 進数
Numeric -	7BH	4AH	7CH	9DH = 157
Numeric *	7CH	37H	00H	9EH = 158
Caps Lock	58H	3AH	14H	9FH = 159
Num Lock	77H	45H	00H	A0H = 160
Left ALT	11H	38H	00H	A1H = 161
Left CTRL	14H	1DH	11H	A2H = 162
Left Shift	12H	2AH	12H	A3H = 163
Right Shift	59H	36H	59H	A4H = 164
Print Screen	Multiple	00H	00H	45H = 165
Tab	0DH	0FH	0DH	A6H = 166
Shift Tab	8DH	8FH	65H	A7H = 167
Enter	5AH	1CH	5AH	A8H = 168
ESC	76H	01H	08H	A9H = 169
Left ALT Make	11H	36H	00H	AAH = 170
Left ALT Break	11H	B6H	00H	ABH = 171
Left CTRL Make	14H	1DH	00H	ACH = 172
Left CTRL Break	14H	9DH	00H	ADH = 173
* LeftALT + 1 character	11H	36H	00H	AEH = 174
* LeftCTRL+1 character	14H	1DH	10H	AFH = 175
* Send			58H	C0H = 192
Clear			6FH	C1H = 193
Jump			76H	C2H = 194
Send Line			7EH	C3H = 195
Erase EOF			6DH	C4H = 196
Send – Make Only			58H	C5H = 197

レーザー点灯モード

設定開始から設定終了まで上から順に読み取って下さい。

1

15 秒後にレーザー消灯

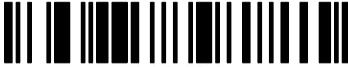
<出荷時の設定>

設定開始



999999

2 秒後レーザー消灯禁止



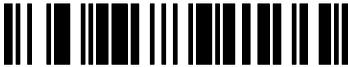
119404

トリガスイッチ点灯禁止



418304

15 秒後にレーザー消灯許可



119415

デコード後レーザーON 許可



119416

設定終了



999999

2

2 秒後にレーザー消灯

設定開始



999999

15 秒後レーザー消灯禁止



119405

トリガスイッチ点灯禁止



418304

2 秒後にレーザー消灯許可



119414

デコード後レーザーON 許可



119416

設定終了



999999

トリガイッチの設定

上記 1、2 の設定後、お好みで設定してください。

<デフォルト>

トリガスイッチを使用する



118713

(スイッチを押すことで読み取る)

トリガスイッチを使用しない



118703

(レーザーをかざすのみで読み取る)

レーザー点灯モード

設定開始から設定終了まで上から順に読み取って下さい。

3

トリガスイッチ点灯

設定開始



999999

15 秒後レーザー消灯禁止



119405

2 秒後レーザー消灯禁止



119404

トリガスイッチ点灯許可



418354

デコード後レーザーOFF



119406

読み取りスイッチを使用する



118713

設定終了



999999

4

レーザー常時点灯

設定開始



999999

15 秒後レーザー消灯禁止



119405

トリガスイッチ点灯禁止



418304

2 秒後にレーザー消灯禁止



119404

電源 ON 時レーザー点灯



119403

デコード後レーザーON 許可



119416

設定終了



999999

トリガイッチの設定

上記 4 の設定後、お好みで設定してください。(3には使いません)

<デフォルト>

トリガスイッチを使用する



118713

(スイッチを押すことで読み取る)

トリガスイッチを使用しない



118703

(レーザーをかざすのみで読み取る)

デコードの一致回数

回数を多くすると誤読率を下げますが、読み取りに時間がかかります。



* 0 回一致 - 「正常読取」には 1 つのデコードデータが必要。(出荷時の設定)



1 回一致 - 「正常読取」には連続した 2 つの同じデコードデータが必要。



2 回一致 - 「正常読取」には連続した 3 つの同じデコードデータが必要。



3 回一致 - 「正常読取」には連続した 4 つの同じデコードデータが必要。



4 回一致 - 「正常読取」には連続した 5 つの同じデコードデータが必要。



5 回一致 - 「正常読取」には連続した 6 つの同じデコードデータが必要。



6 回一致 - 「正常読取」には連続した 7 つの同じデコードデータが必要。



7 回一致 - 「正常読取」には連続した 8 つの同じデコードデータが必要。

キャラクタの置換

回数を多くすると誤読率を下げますが、読み取りに時間がかかります。

設定方法

1. 「設定開始/設定終了」の設定バーコードを読み取ります。
2. 「置換前のキャラクタ」の設定バーコードを読み取ります（以下を参照）。
3. 置換前のキャラクタのコード・バイト値を読み取ります。「補足設定 コード・バイトの設定値」と「数値バーコード（コード・バイト）」を参照してください。
4. 「置換後のキャラクタ」の設定バーコードを読み取ります（以下を参照）。
5. 置換後のキャラクタのコード・バイト値を読み取ります。
6. 「設定開始/設定終了」の設定バーコードを読み取ります。



設定開始/設定終了



~ 置換前のキャラクタ

(例)スペースなら次にコード・バイト 032 を読む



~ 置換後のキャラクタ

(例)Tab なら次にコード・バイト 009 を読む



置換の設定を消去

GS1 Databarの読み取り設定

*は初期設定です。 Limited、Expandedについては続きのページをお読み下さい



ダブル・ボーダー要求 - GS1 Databar を読取る場合、シンボル内に広いスペースが含まれることが多いために、ダブル・ボーダー要求を許可することをお勧めします。



GS1 Databar 読取 許可



* **GS1 Databar 読取 禁止**



* **GS1 Databar チェック・ディジット 出力 許可**



GS1 Databar チェック・ディジット 出力 禁止



* **GS1 Databar アプリケーション ID 出力 許可** - 初期値ではアプリケーション ID「01」が出力されます。



GS1 Databar アプリケーション ID 出力 禁止



* **GS1 Databar シンボル ID を出力 許可** - 初期値ではシンボル ID「je0」が出力されます。



GS1 Databar シンボル ID を出力 禁止

GS1 Databar Limitedの読み取り設定



GS1 Databar Limited 読取 許可



*** GS1 Databar Limited 読取 禁止**



*** GS1 Databar Limited チェック・ディジット 出力 許可**



GS1 Databar Limited チェック・ディジット 出力 禁止



*** GS1 Databar Limited アプリケーション ID 出力 許可** - 初期値ではアプリケーション ID「01」が出力されます。



GS1 Databar Limited アプリケーション ID 出力 禁止



*** GS1 Databar Limited シンボル ID 出力 許可** - 初期値ではシンボル ID「je0」が出力されます。



GS1 Databar Limited シンボル ID 出力 禁止

GS1 Databar Expandedの読み取り設定



GS1 Databar Expanded 読取 許可



*** GS1 Databar Expanded 読取 禁止**



*** GS1 Databar Expanded シンボル ID 出力 許可**

- 初期値ではシンボル ID 「je0」が出力されます。



GS1 Databar Expanded シンボル ID 出力 禁止

USBシリアル (USBCOM) の設定

※2021/5 改訂 : USB シリアルエミュレーションの設定メニューを変更しました。

(従来は USBCOM ポートエミュレーションと表記していたものです)

※以前の説明書をお持ちの場合、本書と差し替えて下さい。Windows 10 では以前の USB シリアルの設定メニュー (316470 と表示) を使用しないでください。

*はデフォルト(出荷時設定)です



* USB キーボードエミュレーション

この設定はスキャナを USB キーボードとして設定します。読取データをキーボードデータとして送信します。データは PC のカーソルがある場所に入力します。



USB シリアルエミュレーション

※エクセルなどに入力する場合、この設定は不要です。

※このメニューを読み取る前に、次のことを行ってください。

- ・ パソコンからスキャナのケーブルをはずしてください。
- ・ USB シリアルエミュレーションのドライバをコンピュータにインストールして下さい。

この設定はスキャナを USB シリアルデバイスとして設定します。読取データをシリアルデータとして送信します。データは PC の COM ポートに送信します。
